

広島市立中央図書館の
闘病記コーナー
これまでとこれから

公益財団法人広島市文化財団
広島市立中央図書館 事業課
鈴木 洋美



広島市立中央図書館

広島市球場文化ライブラリー

闘病記コーナー設置の経緯

2006年に、まず「闘病記」資料のミニ展示を行うために館内資料をあつめた



100冊以上の資料が集まったので、一過性のミニ展示ではなく「闘病記コーナー」として常設することに



担当者2名で、闘病記資料を約600冊選び開設準備



2006年(平成18年)9月1日設置

項目数と冊数の推移

	冊数	項目数	
2006. 9.1	653冊	35	がん（19分類＋その他）、脳（1分類＋その他）、その他（12分類＋その他）
2007. 4.1	767冊	38	「自閉症」・「うつ病」・「介護記」を加える
2008. 4.1	958冊	49	「咽頭がん」・「骨髄腫」・「悪性黒色腫」 「ユーイング肉腫」・「脳梗塞」・「脳出血」・ 「脳溢血」・「くも膜下出血」・「脊髄小脳変性症」・「ハンセン病」・「情報」を加える
2009. 3.1	1153冊	52	「アルコール依存症」・「アレルギー」・「摂食障害」を加える
2014. 4.1	1578冊	52	



開設当初の闘病記コーナーの様子



闘病記コーナー開設2周年 (2009年)の取組

今以上に、闘病記コーナーを知ってもらい利用してもらう
為に、4種類の事業を実施

- ①企画展「早期発見！自分の病気」
- ②講演会「がん対策個人計画～がんになったら7か条」
「これがオヤジの生きる道」
- ③健康フェスタ(1日健康コーナー)
- ④闘病記コーナー案内パンフレット作成

①企画展「早期発見！自分の病気」

開催期間：2009年3月6日（金）～4月10日（金）

- 闘病記コーナーを広く市民に知ってもらう
- 闘病している人やその家族の手助けとなるような展示とする



- 患者会・医師会・公共機関等に呼びかけ、各団体等で発行している患者会資料や、啓発パンフレット、病気の啓発ポスターを展示・配布
- 横浜市中心図書館・東京都立中央図書館・東京女子医科大学病院からだ情報館の医療情報コーナーの紹介




展示ホール



ミオパチーの会
オリーブ
(筋疾患)

病気の再発に悩んでいるあなたへ
ミオパチー(筋疾患)の会オリーブ
のご案内


http://www.mio-olive.net/

ミオパチーの会オリーブ
電話 : 090-7601-3081
携帯 e-mail: mio-olive125@ezweb.ne.jp

ミオパチー(筋疾患)

筋肉病。神経の障害がなく、筋の力がない、やせてくるなどの症状がある。代表的なものは筋ジストロフィーである。内分泌臓器の異常により発生する内分泌性、筋肉収縮後に自分で筋肉を弛緩できない状態の筋強直症候群、薬剤によって起こる薬剤性、全身麻酔をした時に体温が42℃までも上昇し、筋肉が硬直した状態になり、死亡率の高い悪性過高熱などがある。

各展示台の様子



展示ホール(壁面)

② 講演会



闘病記コーナー開設2周年記念事業

参加費無料

『闘病記コーナー』をご存知ですか? ～図書館は健康情報の宝庫です～

- ・患者自身の不安の解消や心の癒しに
- ・患者とその家族の心の支えや励みに
- ・これまで知らなかった病気や健康のことを知る機会に

闘病記コーナーは、一番身近なあなたの味方です。

記念講演会

「がん対策個人計画 ～がんになったら7か条」

講師 浜中 和子氏
(浜中皮ふ科クリニック院長)

日時 平成21年3月15日(日)
13:00～15:00

■講師プロフィール

1976年広島大学医学部を卒業。
1989年に医学博士。
広島大学医学部附属病院、マツダ病院、尾道総合病院、広島総合病院を経て、1995年、浜中皮ふ科クリニックを開設。
乳腺疾患患者の会「のぞみの会」会長。ホスピスクアをすすめる会・広島会員、NPO法人がん患者団体支援機構事務局長として、診療のかたわらがん患者支援活動、ホスピスクア活動に奔走している。
所属学会：日本皮膚科学会 日本臨床皮膚科医会
日本形成科学会 皮膚アレルギー学会
著書：「のぞみを胸に」(ガリバープロダクツ)



介護体験講演会

「これがオヤジの生きる道」

講師 塩崎 周司氏
(おやしプロガール・エッセイスト)

日時 平成21年3月7日(土)
13:00～15:00

■講師プロフィール

1949年生まれ。印刷技術を習得し、企画会社を設立。
妻が55歳で脳梗塞に倒れ、社長引退を決意。
2006年から中国新聞に「これがオヤジの生きる道」を連載し、話題を集める。ブログ「Shiozyの介護生活」では、仕事一筋の「団塊おやし」だった生活から一転、妻の病を境に突入した兼業主夫生活を綴り、トップアクセスを誇っているオヤジプロガール。
著書：「妻のために生きる」(創美企画株式会社)



浜中氏：自らの乳がんの体験を
医師と患者の立場から講演

塩崎氏：脳梗塞で倒れた妻の
介護体験の講演

講演会ポスター

③健康フェスタ(1日健康コーナー)

「読んで健康、測って健康」(健康科学館との共催)
2009年3月28日(土)



健康に関する本の展示と
血圧測定・栄養士による栄養相談・
健康体操



日頃図書館に来館していない市民
に図書館をPR
図書館で健康情報を得ることができ
る事を知ってもらう
(新規利用の拡大)

血 圧 測 定

コ-ナ-

けんこうがくかん
健康科学館

70歳
健康科学館 立寄欄

測定



栄養士による

栄養相談

コーナー

5

6

理学館



早期発見！自分の病気
—こんな病気をご存知ですか？—

栄養士による
栄養
コーナー

血圧測定

栄養相談

健康相談

健康相談

「患者会などの情報コーナー」 の設置について

2010年12月1日 コーナー設置

40団体 会報21誌でスタート

(2014年4月1日現在 55団体 会報37誌)

コーナー設置のきっかけ

「闘病記コーナー開設2周年記念事業」の企画展で、患者会の会報やパンフレットを展示・配布



- 「患者会の情報が分からなかったのでパンフレットがもらえて助かりました。」
- 「病気に悩んでいるのは、自分だけではないことがわかり、不安の解消や心の支えになりました」という、利用者の声



- 企画展で展示・配布した患者会資料を、今後も引き続き閲覧・配布できる情報コーナーにする準備

収集方法

企画展示に資料提供してもらった団体に、引き続き協力して頂けるかアンケートを送付

- 引き続き資料を患者会などの情報コーナーに置いてもよいか
- 複数部あるものは配布してもよいか
- 会報があれば、毎号送付してもらえるか
- 問い合わせがあれば連絡先を公表してよいか
- 図書館資料として、複写サービスをしてよいか



2つの常設コーナーを設置

- ① 「患者会・家族会・各団体の情報コーナー」
- ② 「会報閲覧コーナー」

患者会・家族会・
各団体の情報コーナー

各団体の情報は保存用の資料が一部あります。
保存用以外の資料はご自由にお持ち帰り下さい。
ご不明な点などございましたらカウンターにお尋ね下さい。



患者会・家族会・
各団体の情報コーナー

各団体の際には保存用の資料が一部あります。
保存用以外の資料はご自由にお持ち帰りの下さい。
ご不明な点などございましたらカウンターにお尋ね下さい。



闘病記コーナ

患者会・家族会・
各団体の会報コーナー

会報は取り立てて下さい



①「患者会・家族会・各団体の 情報コーナー」

約40団体の患者会・家族会・各団体が発行している
〈案内パンフレット〉や〈病気に関する資料〉を置いた
コーナー

(※2014.4.1現在は55団体)

保存用資料を1部置き、同じ資料が複数あるものについて
は持ち帰ることができる

患者会・家族会・ 各団体の情報コーナー

各団体の箱には保存用の資料が一部あります。
保存用以外の資料はご自由にお持ち帰り下さい。
ご不明な点などございましたらカウンターにお尋ね下さい。

AA中四国
セントラルオフィス
アルコール依存症

あけぼの会
乳がん

アルファ・クラブ
(胃を切った人友の会)

SMA(脊髄性筋萎縮症)
家族の会
脊髄性筋萎縮症

全国膠原病友の会
膠原病

社団法人 全国腎臓病協議会
(全腎協)
NPO 広島県腎友会
腎不全

②「会報閲覧コーナー」

患者会・家族会・各団体が発行している<会報>を
各団体ごとに分けたファイルに綴じ置いたコーナー
(※2014.4.1現在は37誌)

館内閲覧のみ

アンケートにより複写可と回答の会報については、
図書館資料として複写サービスにも応じる

患者会などの情報コーナーを作ったことで

- 「患者会資料がまとまっているので探しやすい」と利用者から好評
- 図書館が把握できていない患者会から「会報をおいてほしい」という声が出てきた

課題と今後の取組について

これまでの闘病記コーナーに寄せられた声から

うれしい声

- 家族ががんになったので、最初に図書館に来た
- とても良い。ひんぱんに利用している
- 自分と同じような病気を経験している人の本を
読んで、仲間がいると思えたし、これから起こる
であろう手術・闘病の過程が想像できて力づけ
られた
- 患者会資料があるのがありがたい

課題となる声

- もう少し、新しい病気の項目はないのか
- 病気になったときに、どの本を読んだらよいのか、よくわからないので、相談したい
- 闘病記だけではなく、病気自体について詳しいことを調べたい
- 自分の病気の治療方法について、どのような方法があるのか調べたい

利用者の声からみえる課題

- 病気の項目の見直しができておらず、新しい病気の項目も増えていない
- 闘病記コーナーと健康・医療に関する図書のある部屋が離れており案内が難しい
- 病気・介護について調べるには、闘病記コーナーの「情報」「介護」の資料だけでは不十分
- 図書館で、健康・医療情報が入手できることのPR不足
- 選書・資料案内をするための、職員のスキルアップの必要性
- 職員のスキルアップやレフェラルサービスをする上でも、他機関との連携の必要性

課題解決に向けて

- 病気の項目の見直しをする
- 案内の工夫をする
- 積極的に「健康」「医療」「介護」に関する資料の収集をする
- 市民病院で開催される「医療情報サロン」や健康科学館などに出かけ、図書館のPRをする
- 医療・健康情報サービスについて研修をする
- 他機関との連携をすすめる

図書館PRと連携に向けて現在の取り組み

- 広島県がん対策推進協議会
 - ➡ 「がん患者さんのための地域の療養情報サポートブック」に広島市立中央図書館の闘病記コーナーを掲載してもらい、サポートブックを寄贈してもらう
- 広島市民病院図書室
 - ➡ 市民病院図書室の医学専門雑誌を譲り受ける
- 日本赤十字広島看護大学図書館
 - ➡ 看護大学図書館の情報検索研修会「看護職対象文献検索講座 トワイライト講習会」への参加

広島市立図書館の ホームページをリニューアル

闘病記情報のページ「闘病記コーナー」

- 病名ごとに資料を検索できる
- 県内外の医療情報にリンク



「健康・医療・介護情報コーナー」へ

- 非来館者への情報提供をする

「闘病記コーナー」から
「健康・医療・介護情報コーナー」
へ